

『中央銀行会通信録』(名古屋銀行集会所内中央銀行会発行)は、『銀行通信録』(東京)、『大阪銀行通信録』と共に、近代日本経済の史的研究に不可欠であり、とくに、中京地帯〔静岡・福井・岐阜・三重をも含む〕の経済動向を月報形式で示す唯一の資料！——日本金融史研究の貴重資料の完全復刻版！

明治期(全25巻)、大正期(全56巻)完結に続き、昭和期(全49巻)刊行開始！

推薦——石井寛治・岡田和喜・新保 博・杉原四郎

中央銀行会通信録

昭和十七年五月三十日發行

明治三十六年五月三十日發行

中央銀行會月報

第壹號

中央銀行會

創刊号表紙(明36年5月)

〈誌名の変遷〉『中央銀行会月報』第1号(明治36年5月)→第24号(明治38年4月)

『中央銀行会通信録』第25号(明治38年5月)→第47号(昭和17年7月)

●昭和期——全49巻(全12回配本) '93年2月→'95年11月

体裁——B5判・上製本 総頁数——三三、二〇〇頁

監修・解説——岡田 和喜(日本大学経済学部教授)

本体価格——九〇〇、〇〇〇円 (全49巻揃価)

中央銀行會月報

第壹號

發刊の趣旨

如何なる趣意如何なる目的を以て中央銀行會月報なるものは發刊せらるゝに至りしやそも汗牛充棟も音ならざる操縦界に於ては經濟金融等の爲めに言論を費すもの亦尠ならず而も吾人をして本誌の發刊を餘義なくせしめたるは世の趨勢か果た氣運か

抑も中央銀行會の起源は明治十二年四月名古屋區に於て發起會なるものを開き銀行營業上の利害及び各地金融の景況等を相互に懇談し併て全業者の交誼を親厚ならしめんと目的を以て斯會を創立せんと企劃てたるにあり而して當時の發起銀行は名古屋區二名其他は一國に一名の豫定にて發起會に出席せしは名古屋の三井銀行支店十一國立銀行半田の百三十六國立銀行岐阜の十六銀行龜山の百十五國立銀行濱松の二十八國立銀行等にして之れに關聯せる土地は尾張美濃飛騨伊勢伊賀三河遠江の七ヶ國なりしが翌十三年四月に至り其第一回を名古屋區本願寺別院に開催せしが當時の會員銀行は三十八銀行にして名稱を中央同盟銀行親睦會と稱し會則を定め會場は中樞の土地名古屋を以て充つる事とし開會は毎年二回と決定し茲に於て漸く基礎を確立するに至りたり夫れより明治二十年四月に至り幹事を改選し爾後

中央銀行會月報 第壹號

發刊の趣旨

順番と爲し來りしが全三十一年四月より幹事を名古屋組合銀行の委員即ち愛知明治名古屋伊藤三井支店の五行に托囑する事となり全年四月の大會に於て幹事銀行の内より議長一名を撰定し協議の順席を定め更に會の名稱を中央銀行會と變更し事務所を名古屋市南伊勢町十八番戶名古屋銀行集會所内に設置し全三十二年一月より幹事銀行は愛知明治名古屋三井第一伊藤商業の七行と定め全三十三年四月に至り規則の修正を爲せしが全三十五年二月より更に幹事銀行を現今の明治愛知名古屋三井第一の五銀行と革むるに至れり然るに中央銀行會は創立以來益長足の進歩を爲し現今に於ては愛知三重岐阜静岡岡福井長野の六縣下に殆んど一百の同盟銀行を有し全國に於ける各銀行集會所に比較するに金融界の頻繁と經濟上の實力は優に東京大坂二府の集會所に亞ぐべき位置にあるべしと信ず斯の如き金融界の樞要地即ち銀行事務の多望なる土地に於て銀行會の機關に供すべき一雜誌の發刊なきは遺憾とする所既に東京大坂には各々銀行通信録の發刊あり而して今や中央銀行會に於て此の月報なるもの、發刊せらるゝに至る豈無用の事業ならんや且つ夫れ變動極りなき金融界の事態は豫め未來を觀察するの困難なるは言を俟たざれども過古及現在の形勢を以て將來を推測するは強ち無謀のことにあらず依て右六縣下の各同盟銀行本支店に於ける毎月の營業報告及び各要地の金融を詳密に報導して同盟銀行の現状を知悉し金融界に於ける

既刊圖書のご案内

通商彙纂

【第II期】全60卷

明治36年4月
〜同41年12月

収録原本の内容

『通商彙纂』(外務省發行)

明治36年4月〜明治41年12月
『通商彙纂』の原本は、明治36年3月までは通巻号数が表記されていたが、明治36年4月以降は、毎月6回発行の定期刊行となり、各年ごとの号数表記になっている。

■B5判/上製/中性紙使用
総頁数30,648頁

■解説||高嶋雅明(和歌山大学教授)
第1巻の巻頭に収録

■配本||第15回から第26回まで
全12回配本

■本体価格||
各配本85,000円

揃定価

1,020,000円

朝鮮・中国・東南アジア・欧米諸国・中南米・豪州に至る諸地域の国際通商經濟關係の情報を満載した外務省通商局編纂の「領事報告」の集大成。日本資本主義の生成・発展段階及び、各国經濟活動を克明に記録した統計・報告書の第一級資料!

推薦

梶村秀樹
田中正俊
角山 栄
村上勝彦
山口和雄

配本回数

収録巻数

収録年月

配本年月

価格

'91年度配本分		'92年度配本分		'93年度配本分		'94年度配本分	
第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回
第71〜75巻	第76〜80巻	第81〜85巻	第86〜90巻	第91〜95巻	第96〜100巻	第101〜105巻	第106〜110巻
明治36年4月〜36年10月	明治36年10月〜37年4月	明治37年4月〜37年11月	明治37年11月〜38年5月	明治38年6月〜38年11月	明治38年11月〜39年5月	明治39年5月〜39年11月	明治39年11月〜40年5月
'91年11月	'92年2月	'92年5月	'92年8月	'92年11月	'93年2月	'93年5月	'93年8月

'92年度配本分		'93年度配本分		'94年度配本分	
第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回
第111〜115巻	第116〜120巻	第121〜125巻	第126〜130巻		
明治40年5月〜40年10月	明治40年10月〜41年3月	明治41年4月〜41年8月	明治41年8月〜41年12月		
'93年11月	'94年2月	'94年5月	'94年8月		

'93年度配本分		'94年度配本分	
第22回	第23回	第24回	第25回
第106〜110巻	第111〜115巻	第116〜120巻	第121〜125巻
明治39年11月〜40年5月	明治40年5月〜40年10月	明治40年10月〜41年3月	明治41年4月〜41年8月
'93年8月	'93年11月	'94年2月	'94年5月

'94年度配本分	
第26回	第27回
第126〜130巻	
明治41年8月〜41年12月	
'94年8月	

各配本ごと85,000円

『通商彙纂』【第I期】全70巻

明治14年〜同36年3月

■B5判/上製/総頁数36,200頁 ■配本||全14回配本
■本体価格||各配本75,000円/揃定価1,050,000円(本体価格)

中央銀行会通信録

明治期
大正期
昭和期

全130巻

復刻版概要

●体裁——B5判・上製本

明治期——一〇、二六八頁

大正期——二六、〇〇〇頁

昭和期——二三、〇〇〇頁

●監修・解説——岡田和喜
(日本大学教授)

明治期解説——第25巻巻末

大正期解説——第81巻巻末

昭和期解説——第130巻巻末

●本体価格

明治期 全25巻

本体価格三七五、〇〇〇円

大正期 全56巻

本体価格七五〇、〇〇〇円

昭和期 全49巻

本体価格九〇〇、〇〇〇円

●本体揃価格——全130巻

二、〇一五、〇〇〇円
(税別)

昭和期			大正期(既刊)			明治期(既刊)			期	
配本回数	復刻版巻数	原本収録年月	配本回数	復刻版巻数	原本収録年月	配本回数	復刻版巻数	原本収録年月	配本年月	刊行年度
第27回配本	第127巻～第130巻	昭和15年9月～昭和17年7月	第15回配本	第76巻～第81巻	大正14年7月～大正15年12月	第5回配本	第21巻～第25巻	明治43年9月～明治45年6月	'95年11月	'89年5月
第26回配本	第123巻～第126巻	昭和14年5月～昭和15年8月	第14回配本	第71巻～第75巻	大正13年1月～大正14年6月	第4回配本	第16巻～第20巻	明治42年1月～明治43年8月	'95年8月	'89年8月
第25回配本	第119巻～第122巻	昭和13年1月～昭和14年4月	第13回配本	第66巻～第70巻	大正11年7月～大正12年12月	第3回配本	第11巻～第15巻	明治40年5月～明治41年12月	'95年5月	'89年11月
第24回配本	第115巻～第118巻	昭和11年9月～昭和12年12月	第12回配本	第61巻～第65巻	大正9年1月～大正10年3月	第2回配本	第6巻～第10巻	明治38年9月～明治40年4月	'94年11月	'89年8月
第23回配本	第111巻～第114巻	昭和10年5月～昭和11年8月	第11回配本	第56巻～第60巻	大正7年7月～大正8年12月	第1回配本	第1巻～第5巻	明治36年5月～明治38年8月	'94年8月	'89年5月
第22回配本	第107巻～第110巻	昭和9年1月～昭和10年4月	第10回配本	第50巻～第55巻	大正6年1月～大正7年6月				'94年5月	'89年2月
第21回配本	第103巻～第106巻	昭和7年9月～昭和8年12月	第9回配本	第44巻～第49巻	大正4年7月～大正5年12月				'94年2月	'89年11月
第20回配本	第99巻～第102巻	昭和6年5月～昭和7年8月	第8回配本	第38巻～第43巻	大正3年1月～大正4年6月				'93年11月	'89年8月
第19回配本	第95巻～第98巻	昭和5年4月～昭和6年3月	第7回配本	第32巻～第37巻	大正2年7月～大正3年12月				'93年8月	'89年5月
第18回配本	第91巻～第94巻	昭和4年4月～昭和5年3月	第6回配本	第26巻～第31巻	大正1年7月～大正2年12月				'93年5月	'89年2月
第17回配本	第87巻～第90巻	昭和3年4月～昭和4年3月	第5回配本	第21巻～第25巻	大正11年7月～大正12年12月				'92年11月	'89年11月
第16回配本	第82巻～第86巻	昭和2年1月～昭和3年3月	第4回配本	第16巻～第20巻	大正10年4月～大正11年6月				'92年8月	'89年8月
第15回配本	第76巻～第81巻	大正14年7月～大正15年12月	第3回配本	第11巻～第15巻	大正9年1月～大正10年3月				'92年5月	'89年5月
第14回配本	第71巻～第75巻	大正13年1月～大正14年6月	第2回配本	第6巻～第10巻	大正7年7月～大正8年12月				'92年2月	'89年2月
第13回配本	第66巻～第70巻	大正11年7月～大正12年12月	第1回配本	第1巻～第5巻	大正6年1月～大正7年6月				'91年11月	'89年11月
第12回配本	第61巻～第65巻	大正9年1月～大正10年3月			大正4年7月～大正5年12月				'91年8月	'89年8月
第11回配本	第56巻～第60巻	大正7年7月～大正8年12月			大正3年1月～大正4年6月				'91年5月	'89年5月
第10回配本	第50巻～第55巻	大正6年1月～大正7年6月			大正2年7月～大正3年12月				'91年2月	'89年2月
第9回配本	第44巻～第49巻	大正4年7月～大正5年12月			大正1年7月～大正2年12月				'90年11月	'89年11月
第8回配本	第38巻～第43巻	大正3年1月～大正4年6月			大正11年7月～大正12年12月				'90年8月	'89年8月
第7回配本	第32巻～第37巻	大正2年7月～大正3年12月			大正10年4月～大正11年6月				'90年5月	'89年5月
第6回配本	第26巻～第31巻	大正1年7月～大正2年12月			大正9年1月～大正10年3月				'90年2月	'89年2月
第5回配本	第21巻～第25巻	明治43年9月～明治45年6月			大正8年12月				'89年11月	'89年11月
第4回配本	第16巻～第20巻	明治42年1月～明治43年8月			大正7年6月				'89年8月	'89年8月
第3回配本	第11巻～第15巻	明治40年5月～明治41年12月			大正6年12月				'89年5月	'89年5月
第2回配本	第6巻～第10巻	明治38年9月～明治40年4月			大正5年12月				'89年2月	'89年2月
第1回配本	第1巻～第5巻	明治36年5月～明治38年8月			大正4年6月				'89年11月	'89年11月

各回配本 75,000円 (本体価格)

本カタログ中の表示価格は、全て消費税を含んでおりません。

不出版

東京都文京区向丘一丁目二
TEL〇三三三八二二四四三三
FAX〇三三三八二二四四六四
振替(東京)六一九四〇八四

※弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください。